

「男女共学化」及び「全県一学区化」の検証に係る中学校へのアンケート調査結果

1. 調査概要

- (1) 調査方法 中学校長へのアンケート調査（電子メール）
- (2) 調査実施時期 平成24年11月
- (3) 調査対象 宮城県内の全ての公立中学校 207校
- (4) 回答数 207校（回収率100%）

中学校数(地区別)

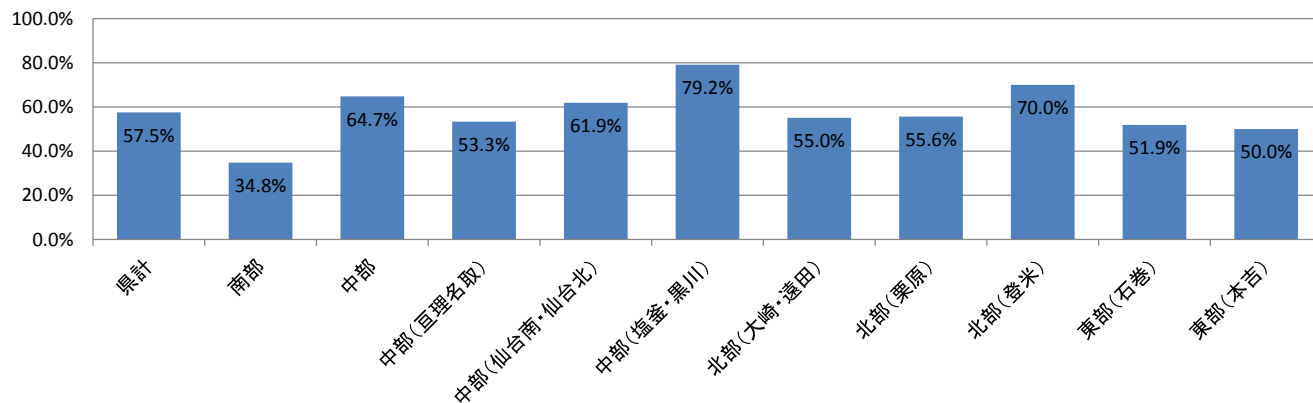
県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
			亘理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
207	23	102	15	63	24	20	9	10	27	16

2. 調査結果

問1 近年、以前と比べて生徒・保護者の進路希望動向に変化はありますか。

選択肢	回答率(回答数/中学校数)										
	県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
				亘理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
変化はある	57.5%	34.8%	64.7%	53.3%	61.9%	79.2%	55.0%	55.6%	70.0%	51.9%	50.0%
変化はない	42.0%	65.2%	34.3%	46.7%	38.1%	16.7%	45.0%	44.4%	30.0%	48.1%	50.0%
無回答	0.5%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■生徒保護者の進路希望動向に「変化はある」と回答する割合



●データ分析

- ・中部(塩釜・黒川)地区、北部(登米)地区において、生徒・保護者の進路希望動向に変化があったと回答する割合が高い。
- ・南部地区は、生徒保護者の進路希望動向に変化があったと回答する割合が、他の地区に比べ低い。

問2 【問1で「1. 変化はある」と回答した場合】生徒・保護者の進路希望に、どのような変化がありますか。

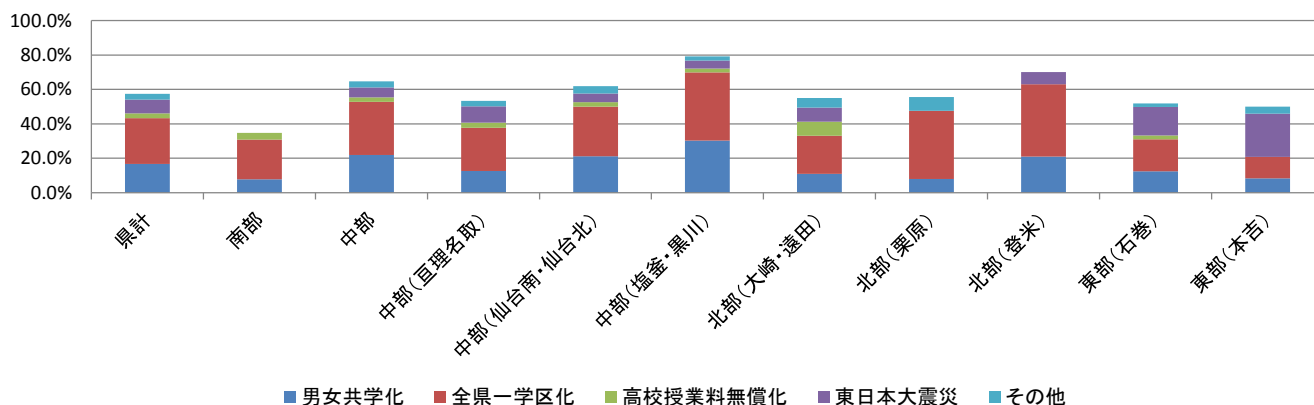
<主な意見>

- 進路希望が多様化・広域化した。学校選択幅が拡大した。(旧学区外への進学, 性別によらない学校選択)
- 仙台圏・仙台市内への進学を希望する生徒の増加
- 旧仙台南学区への進学を希望する生徒の増加
- 旧男子校を希望する女子生徒の増加

問3 【問1で「1. 変化はある」と回答した場合】主にどのようなことが要因で生徒・保護者の進路希望は変化したと思いますか。(複数回答可)

選択肢	回答率((問3回答数/問3回答数計)*問1「変化はある」回答率)										
	県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
				亙理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
男女共学化	16.7%	7.7%	21.9%	12.5%	21.2%	30.3%	11.0%	7.9%	21.0%	12.4%	8.3%
全県一学区化	26.7%	23.2%	30.8%	25.1%	28.8%	39.6%	22.0%	39.7%	42.0%	18.7%	12.5%
高校授業料無償化	2.8%	3.9%	2.6%	3.1%	2.5%	2.3%	8.3%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%
東日本大震災	8.1%	0.0%	5.7%	9.4%	5.1%	4.7%	8.3%	0.0%	7.0%	16.6%	25.0%
その他	3.3%	0.0%	3.7%	3.1%	4.2%	2.3%	5.5%	7.9%	0.0%	2.1%	4.2%
合計	57.5%	34.8%	64.7%	53.3%	61.9%	79.2%	55.0%	55.6%	70.0%	51.9%	50.0%

■生徒保護者の進路希望動向に「変化はある」と回答する割合(要因別)



その他の内容

- ・新入試制度
- ・長引く不況。景気の悪化。経済的理由
- ・私学のきめ細やかな対応
- ・少子化による私学合格率の上昇 等

●データ分析

- ・東部(本吉)地区以外の地区では、全県一学区化が一番高くなっている。
- ・東部(本吉)地区、東部(石巻)地区では東日本大震災の割合が他の地区より高くなっている。

問4 男女共学化後、女子校からの共学化校においては、男子生徒の数が伸び悩んでいる学校もありますが、その要因としてどのようなことがあると思いますか。生徒・保護者の進路希望動向から考えられることがあれば、御記入ください。

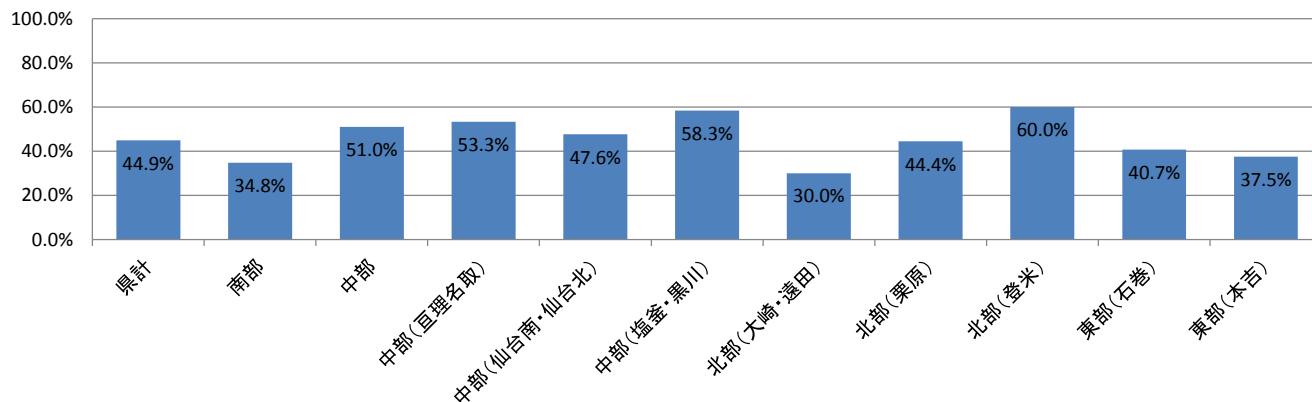
<主な意見>

- 女子校としてのイメージが強く、男子生徒・保護者は抵抗感がある。生徒・保護者の意識が共学化前の感覚で学校選択をしている。
- 旧女子校には男子生徒が希望する部活動が少ない。実績がない。
- 男子生徒やその保護者は、女子生徒の比率が高い学校を避ける傾向にある。

問5 男女共学化及び全県一学区化により、進路指導の内容に変化はありますか。

選択肢	回答率(回答数/中学校数)										
	県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
				亘理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
変化はある	44.9%	34.8%	51.0%	53.3%	47.6%	58.3%	30.0%	44.4%	60.0%	40.7%	37.5%
変化はない	54.6%	65.2%	48.0%	40.0%	52.4%	41.7%	70.0%	55.6%	40.0%	59.3%	62.5%
無回答	0.5%	0.0%	1.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■進路指導の内容に「変化はある」と回答する割合



●データ分析

・問1「生徒・保護者の進路希望動向の変化」と同様に、相対的に中部(塩釜・黒川)地区及び北部(登米地区)で高く、南部地区で低い。

問6 【問5で「1. 変化はある」と回答された場合】どのような変化がありますか。

<主な意見>

- 高校の情報を幅広く収集し、進路指導に反映させることが必要になった。
- 生徒に選択させる選択肢が増えた。より幅広い進路指導が可能になった。

問7 その他、男女共学化及び全県一学区化により、中学校において変化したことはありますか。ある場合は、その内容を御記入ください。

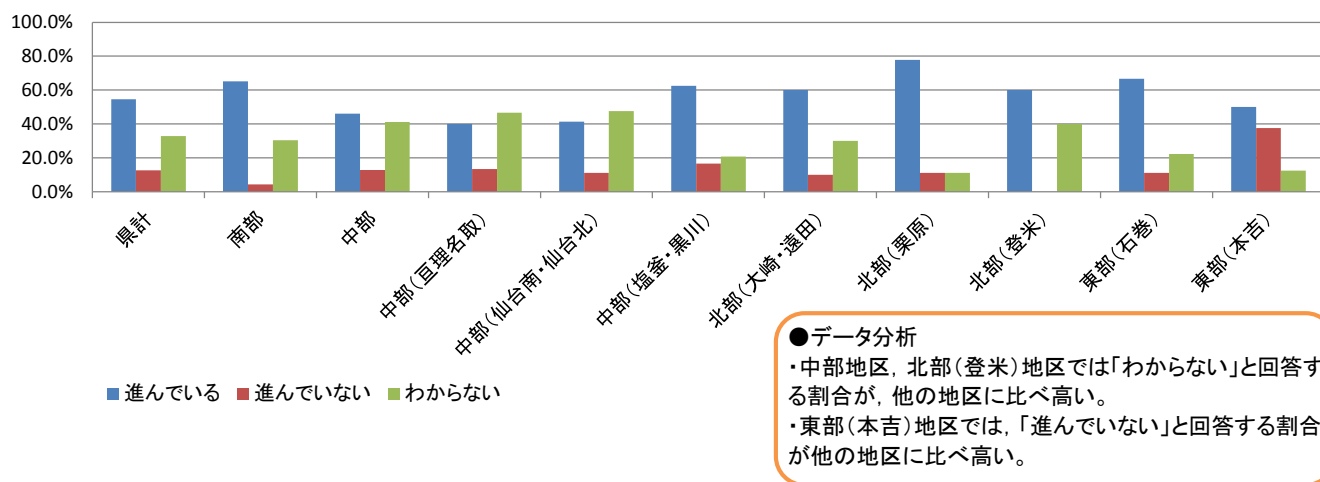
<主な意見>

- 進学先の高校数が増えたことにより、事務量の増加した。業務が煩雑化した。

問8 宮城県では魅力ある高校づくり, 特色ある高校づくりを推進していますが, 高校の特色づくりは進んでいると思いますか。

選択肢	回答率(回答数/中学校数)										
	県計	南部	中部	中部			北部(大崎・遠田)	北部(栗原)	北部(登米)	東部(石巻)	東部(本吉)
				亙理名取	仙台南・仙台北	塩釜・黒川					
進んでいる	54.6%	65.2%	46.1%	40.0%	41.3%	62.5%	60.0%	77.8%	60.0%	66.7%	50.0%
進んでいない	12.6%	4.3%	12.7%	13.3%	11.1%	16.7%	10.0%	11.1%	0.0%	11.1%	37.5%
わからない	32.9%	30.4%	41.2%	46.7%	47.6%	20.8%	30.0%	11.1%	40.0%	22.2%	12.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

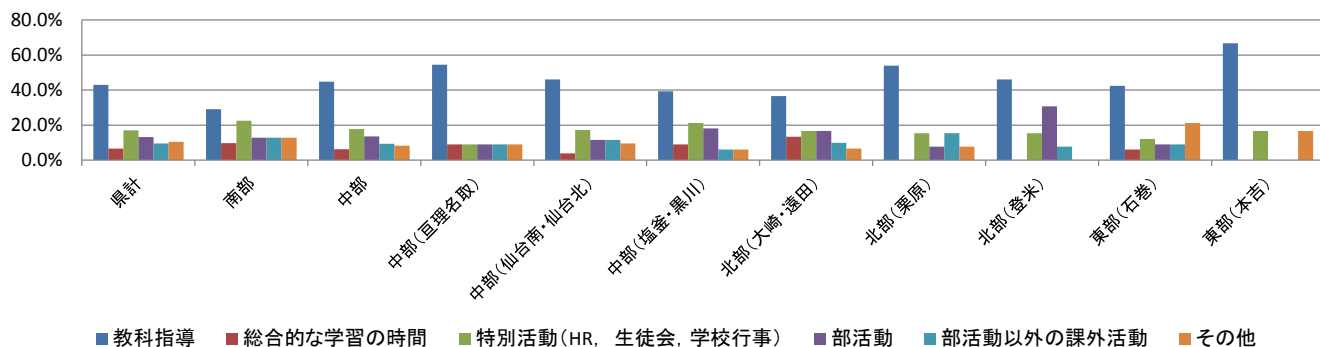
■高校の特色づくりに関する評価



問9 【問8で「1. 進んでいる」と回答した場合】どのような点で進んだと感じていますか。(複数回答可)

選択肢	回答率(回答数/回答数計)										
	県計	南部	中部	中部			北部(大崎・遠田)	北部(栗原)	北部(登米)	東部(石巻)	東部(本吉)
				亙理名取	仙台南・仙台北	塩釜・黒川					
教科指導	43.0%	29.0%	44.8%	54.5%	46.2%	39.4%	36.7%	53.8%	46.2%	42.4%	66.7%
総合的な学習の時間	6.6%	9.7%	6.3%	9.1%	3.8%	9.1%	13.3%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%
特別活動(HR, 生徒会, 学校行事)	17.1%	22.6%	17.7%	9.1%	17.3%	21.2%	16.7%	15.4%	15.4%	12.1%	16.7%
部活動	13.2%	12.9%	13.5%	9.1%	11.5%	18.2%	16.7%	7.7%	30.8%	9.1%	0.0%
部活動以外の課外活動	9.6%	12.9%	9.4%	9.1%	11.5%	6.1%	10.0%	15.4%	7.7%	9.1%	0.0%
その他	10.5%	12.9%	8.3%	9.1%	9.6%	6.1%	6.7%	7.7%	0.0%	21.2%	16.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■高校の特色づくりが進んでいると感じる項目



その他の内容

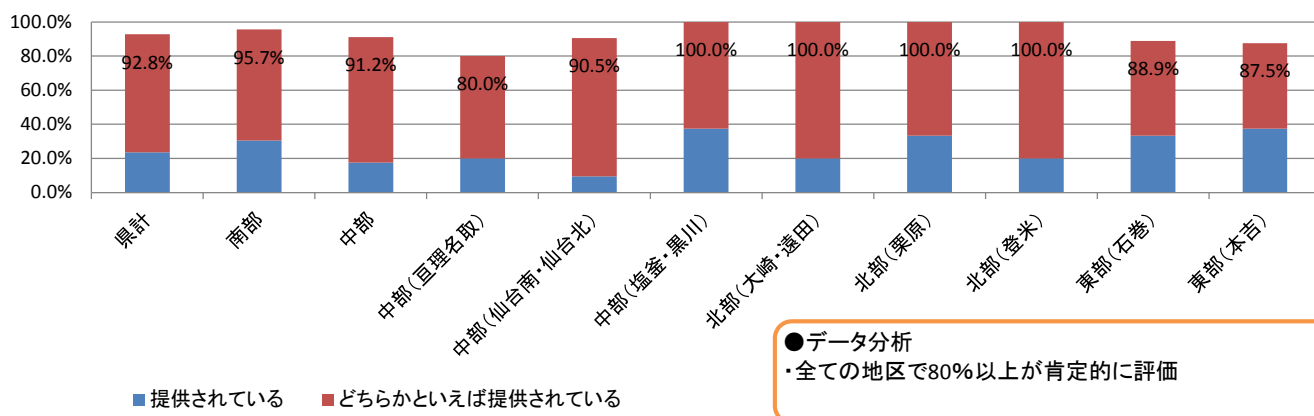
- ・学校からの情報提供の充実(学校だより等の発行)
- ・進路指導
- ・特色ある学科, コース, 類型
- ・進路希望達成に向けた指導の充実, 出口(高校卒業時)の実績
- ・単位制高校
- ・校風
- ・目指す生徒像
- ・多様なカリキュラム
- ・中高一貫校

●データ分析
 ・全ての地区において教科指導が高くなっている。
 ・北部(登米)地区においては, 部活動と回答する割合が, 他の地区に比べて高くなっている。

問10 県教育委員会では、「公立高校ガイドブック」のホームページ上での公開や地区別公立高校合同説明会を開催するなどして、中学校に高校の情報提供を行っています。進路指導をするにあたって十分な情報が提供されていると思いますか。

選択肢	回答率(回答数/中学校数)										
	県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
				亙理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
提供されている	23.7%	30.4%	17.6%	20.0%	9.5%	37.5%	20.0%	33.3%	20.0%	33.3%	37.5%
どちらかといえば提供されている	69.1%	65.2%	73.5%	60.0%	81.0%	62.5%	80.0%	66.7%	80.0%	55.6%	50.0%
どちらかといえば提供されていない	5.3%	0.0%	7.8%	13.3%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	6.3%
提供されていない	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
わからない	1.0%	0.0%	1.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%
無回答	0.5%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

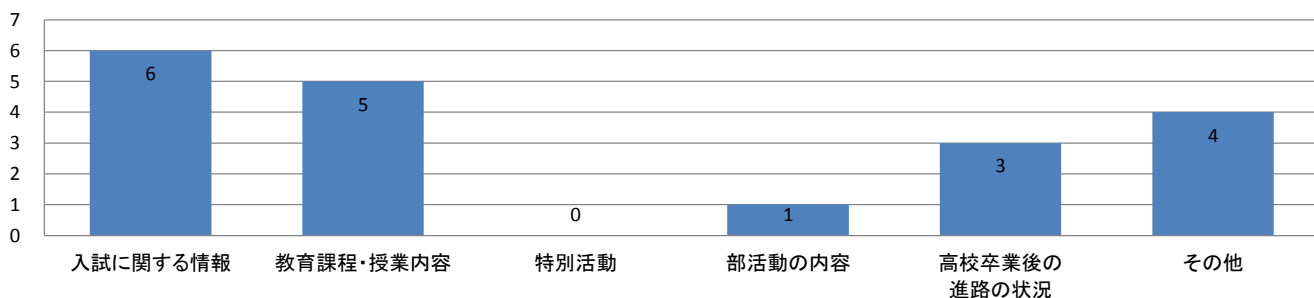
■県教育委員会からの情報提供に対する肯定的評価の割合



問11 【問10で「3. どちらかといえば提供されていない, 4. 提供されていない」と回答した場合】どのような情報が不足していると感じますか。(複数回答可)

選択肢	回答数										
	県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
				亙理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
入試に関する情報	6	0	3	0	3	0	0	0	0	2	1
教育課程・授業内容	5	0	4	2	2	0	0	0	0	0	1
特別活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部活動の内容	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
高校卒業後の進路の状況	3	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1
その他	4	0	3	0	3	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	0	12	3	9	0	0	0	0	4	3

■不足していると感じる県教育委員会からの情報 回答数(県計)



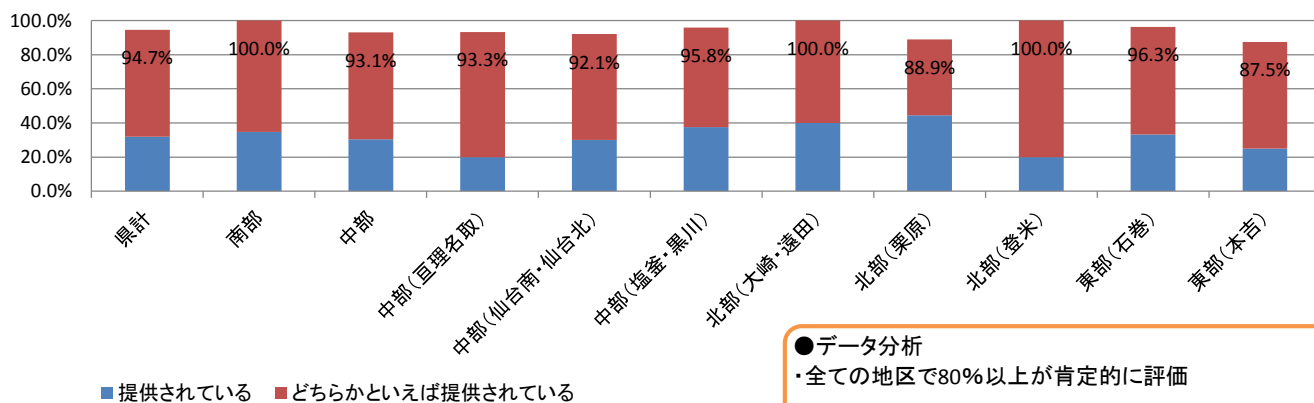
その他の内容

- ・HPを閲覧する環境に無く、結果的に情報が不足している
- ・学費等の必要経費
- ・私立高校のような、各校独自の特色ある魅力的な学校づくりの内容
- ・合同説明会では、混雑していて、じっくり相談できなかった 等

問12 県立高校で実施されているオープンキャンパスでは、生徒が進学希望校を選択するうえで必要となる情報が提供されていると思いますか。

選択肢	回答率(回答数/中学校数)										
	県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
				亙理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
提供されている	31.9%	34.8%	30.4%	20.0%	30.2%	37.5%	40.0%	44.4%	20.0%	33.3%	25.0%
どちらかといえば提供されている	62.8%	65.2%	62.7%	73.3%	61.9%	58.3%	60.0%	44.4%	80.0%	63.0%	62.5%
どちらかといえば提供されていない	1.4%	0.0%	2.0%	0.0%	1.6%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
提供されていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	3.4%	0.0%	3.9%	6.7%	4.8%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	3.7%	6.3%
無回答	0.5%	0.0%	1.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

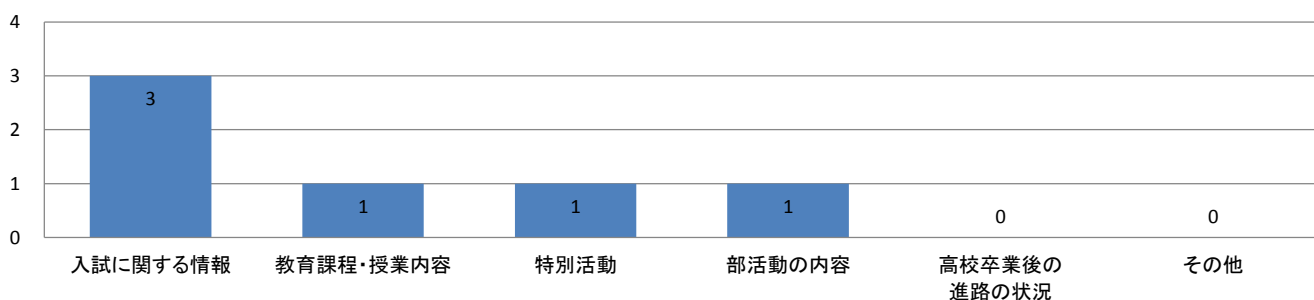
■オープンキャンパスの情報提供に対する肯定的評価の割合



問13 【問12で「3. どちらかといえば提供されていない, 4. 提供されていない」と回答した場合】どのような情報が不足していると感じますか。(複数回答可)

選択肢	回答数										
	県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
				亙理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
入試に関する情報	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1
教育課程・授業内容	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
特別活動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
部活動の内容	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
高校卒業後の進路の状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	0	3	0	1	2	0	0	0	0	3

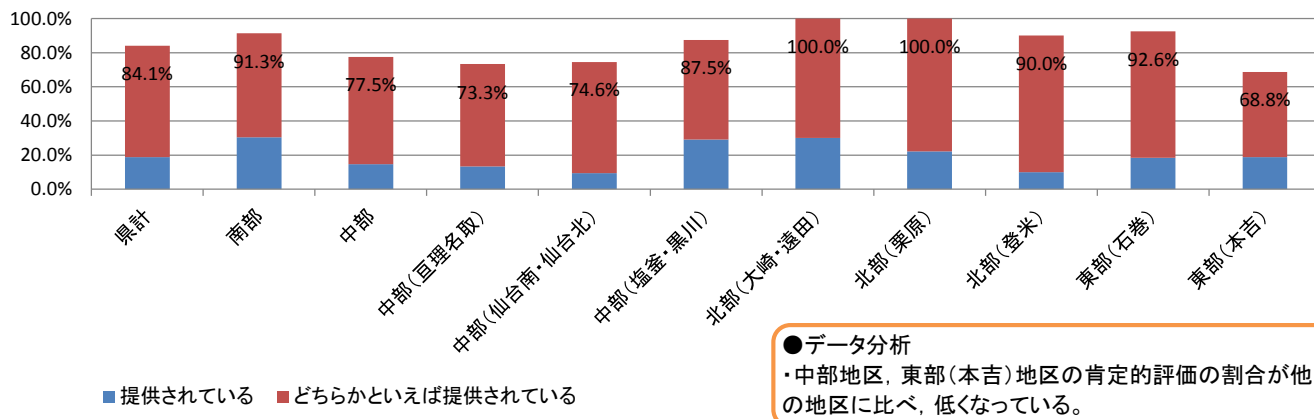
■オープンキャンパスにおいて不足していると感じる情報 回答数(県計)



問14 県立高校では、中学校を訪問するなどして、高校の情報提供を行っています。進路指導をするにあたって十分な情報が提供されていると思いますか。

選択肢	回答率(回答数/中学校数)										
	県計	南部	中部	中部			北部(大崎・遠田)	北部(栗原)	北部(登米)	東部(石巻)	東部(本吉)
				亙理名取	仙台南・仙台北	塩釜・黒川					
提供されている	18.8%	30.4%	14.7%	13.3%	9.5%	29.2%	30.0%	22.2%	10.0%	18.5%	18.8%
どちらかといえば提供されている	65.2%	60.9%	62.7%	60.0%	65.1%	58.3%	70.0%	77.8%	80.0%	74.1%	50.0%
どちらかといえば提供されていない	13.5%	8.7%	19.6%	26.7%	20.6%	12.5%	0.0%	0.0%	10.0%	3.7%	25.0%
提供されていない	1.4%	0.0%	1.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	6.3%
わからない	1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

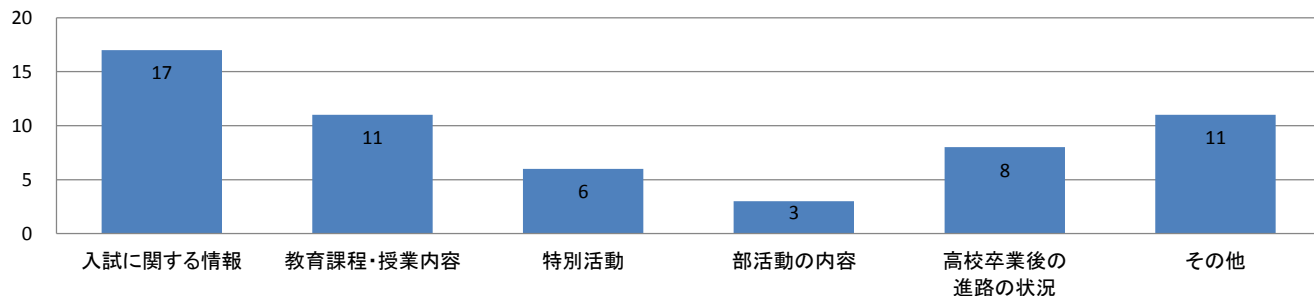
■ 県立高校からの情報提供に対する肯定的評価の割合



問15 【問14で「3. どちらかといえば提供されていない, 4. 提供されていない」と回答した場合】どのような情報が不足していると感じますか。(複数回答可)

選択肢	回答数										
	県計	南部	中部	中部			北部(大崎・遠田)	北部(栗原)	北部(登米)	東部(石巻)	東部(本吉)
				亙理名取	仙台南・仙台北	塩釜・黒川					
入試に関する情報	17	1	11	2	8	1	0	0	1	0	4
教育課程・授業内容	11	0	9	2	6	1	0	0	1	0	1
特別活動	6	0	5	1	3	1	0	0	0	0	1
部活動の内容	3	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1
高校卒業後の進路の状況	8	0	5	0	5	0	0	0	1	0	2
その他	11	1	7	1	4	2	0	0	0	2	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	56	2	39	6	28	5	0	0	3	2	10

■ 不足していると感じる県立高校からの情報提供 回答数(県計)



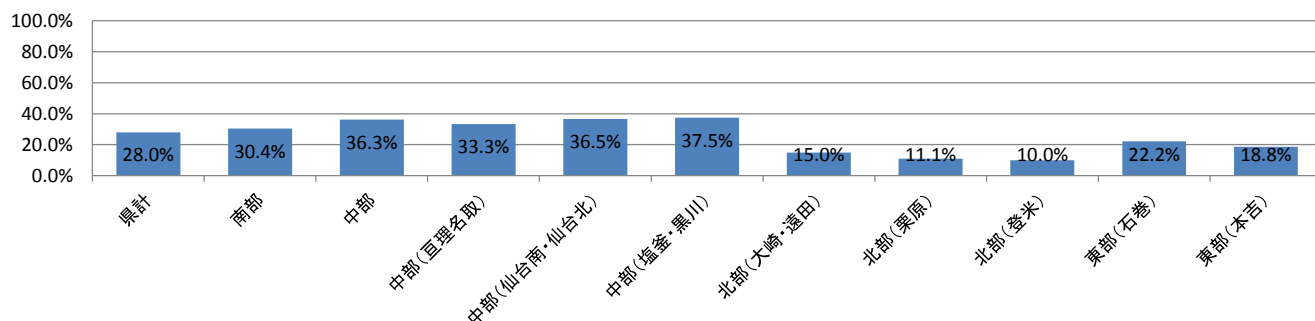
その他の内容

- ・中学校の訪問は限定された範囲が対象であり、逆に全県一学区化との整合性に疑問が残る。
- ・訪問の意味をあまり感じられない
- ・私立高等学校のような、各校独自の特色ある魅力的な学校づくりの内容
- ・高校間で比べると、それほど特色に違いを感じない。
- ・情報提供の十分な時間が取れていない 等

問16 県立高校の「男女共学化」に関して、御意見等ありますか。

選択肢	回答率(回答数/中学校数)										
	県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
				巨理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
ある	28.0%	30.4%	36.3%	33.3%	36.5%	37.5%	15.0%	11.1%	10.0%	22.2%	18.8%
ない	72.0%	69.6%	63.7%	66.7%	63.5%	62.5%	85.0%	88.9%	90.0%	77.8%	81.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■男女共学化に関する御意見が「ある」と回答する割合



●データ分析

- ・県計で約7割以上が、男女共学化に関して意見が「ない」と回答している。
- ・特に男女共学化の実施が早い地区では、意見が「ない」とする割合が高い。

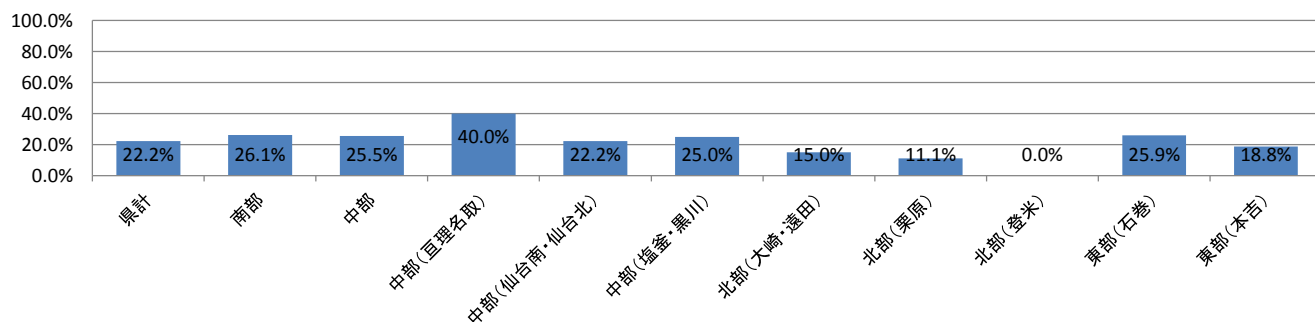
<「ある」と回答した場合の主な意見>

- 特色ある高校であるためにも、別学校があってもよい。共学化により特色を出しにくくなっている学校もあるように感じる。
- 別学を希望する生徒の選択肢が無くなった。別学を残し、生徒にとって多様な選択肢があってもよいと考える。一律に実施したやり方には疑問が残った。
- 「男女共学化」後に、どのような特色ある高校作りをするかが課題なので、それに向けてさらに邁進していただきたい。

問17 県立高校の「全県一学区化」に関して、御意見等ありますか。

選択肢	回答率(回答数/中学校数)										
	県計	南部	中部	中部			北部 (大崎・遠田)	北部 (栗原)	北部 (登米)	東部 (石巻)	東部 (本吉)
				巨理名取	仙台南・ 仙台北	塩釜・ 黒川					
ある	22.2%	26.1%	25.5%	40.0%	22.2%	25.0%	15.0%	11.1%	0.0%	25.9%	18.8%
ない	77.8%	73.9%	74.5%	60.0%	77.8%	75.0%	85.0%	88.9%	100.0%	74.1%	81.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■全県一学区化に関する御意見が「ある」と回答する割合



●データ分析

- ・県計で約8割が、全県一学区化に関して、意見が「ない」と回答している。
- ・中部(巨理・名取)地区については、他の地区に比べ、意見が「ある」とする割合が高い。

<「ある」と回答した場合の主な意見>

- 都市部(仙台方面)に受験者が集中することが懸念される。
- 学校の選択の幅が拡大した。
- 交通事情等により一学区制のメリットを享受できない生徒もいる。そのような生徒に配慮した取組が必要。